11月3日市民賞4名と1団体が受賞

写真最前列の左２人目から　濱田氏・秋友氏・依光氏・加来氏・紅白歌合戦実行委員会（山本三恵子氏・竹内正和氏・服部絹代氏）

11月３日、『第３回香美市市民賞表彰式』がプラザ八王子で開催されました。同賞は、産業・教育・文化・政治・福祉などの分野で活躍、貢献のあった方を表彰するもので、今年は４人の方々と１団体が選ばれました。

濱田　祐禪氏
（81歳・土佐山田町楠目）
　民生委員、児童委員を昭和23年11月から平成19年11月まで約60年の長きにわたり務められ、地域社会の福祉の増進に大きく貢献されたことが評価されて今回の受賞となりました。また氏は、土佐山田町文化財保護審議会委員を31年以上（平成18年2月まで）務められました。

秋友　偉嗣氏
（70歳・土佐山田町有谷）
　土佐山田町議会議員、香美市議会議員をはじめとし、遺族会佐岡支部長などを務め、特に有谷地区自治会長を昭和57年1月から26年の長きにわたり務められ、地域社会の活性化に大きく貢献したことが評価され今回の受賞となりました。

依光　好墨氏
（76歳・土佐山田町南組）
　昭和56年に高知県交通安全協会香美支部に入会し、平成13年から平成19年までは、同協会副支部長を務められ、児童、高齢者を中心に安全指導を行うなど交通安全の推進に大きく貢献したことが評価され今回の受賞となりました。

加来　正幸氏
（70歳・土佐山田町西本町）
　現在加来歯科医院を営んでおり、長年地域住民の診療を続ける傍ら、昭和59年度から平成2年度まで山田小学校、平山小学校の歯科校医を、平成4年度から平成16年度までは平山小学校の歯科校医を務められ、保健医療にあたり市保健行政に大きく貢献されたことが評価され今回の受賞となりました。

紅白歌合戦実行委員会
　平成4年に結成され毎年カラオケ大会を実施し、その収益金全額を社会福祉協議会へ寄付しており、現在までに軽自動車7台、車椅子10台の購入を実現しており、地域社会の福祉の増進に大きく貢献したことが評価されて今回の受賞となりました。